

認定第1号

駄科区メガさんぽおひさま発電所プロジェクト2013

- 事業者 駄科区（竜丘）
- 協力事業者 おひさまグリッド4株式会社
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 駄科区コミュニティー防災センター
- 太陽光発電容量 51.3 kW（パネル容量）
- 発電見込み量 年間 51,312 kWh

申出時点での事業計画

- ① 自立コンセントによる防災機能向上
- ② 地域が行なう環境教育事業への協力

実績等

- 発電開始日 平成26年6月16日

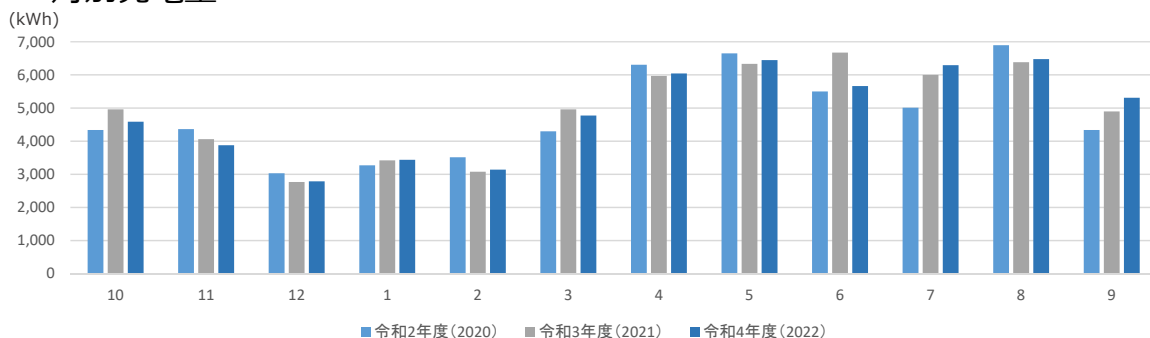
- 年別発電量及びCO₂削減量（各年度10月～9月）

令和2年度 57,495 kWh（当初想定：51,312 kWh）・・・CO₂削減量 21.8 t-CO₂

令和3年度 59,475 kWh（当初想定：51,312 kWh）・・・CO₂削減量 24.1 t-CO₂

令和4年度 58,807 kWh（当初想定：51,312 kWh）・・・CO₂削減量 26.4 t-CO₂

- 月別発電量



- 地域貢献寄付金（定率6%+税） ※発電開始初年度の寄付金は翌年分と合算。年度は支払い年度を示す。

平成27年度：168,290円	令和元年度：132,907円	令和5年度：129,375円
平成28年度：136,622円	令和2年度：130,214円	
平成29年度：132,728円	令和3年度：126,489円	
平成30年度：131,490円	令和4年度：130,845円	

本事業での最近の活用内容

寄付金を鈴岡城址公園の活性化へ（継続事業）

活動を通して交流の場に

鈴岡城址公園愛護会協力会、
駄科区組合、老人クラブとの
公園整備美化活動



公園管理棟を学びの場に

研修会が 開ける場に

約30人程度が入れる
部屋を活用



写真パネルの 展示

公園の歴史等を学べるように写真を大きなパネルにし展示
(約30枚)



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

- ①カーボンニュートラルが叫ばれ自然エネルギーの活用が重要となっている。そこでの太陽光発電に対する期待は高い。しかし、現在のところパネルを乗せているだけで具体的な取り組みが少ない。参考になる取り組み事例を示してほしい。
- ②多くの参加者を得て太陽光発電を取り組んで良かったとなるような取り組みの模索

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	30,845円
今年度地域貢献寄付金	129,375円
合計	160,220円

■支出の部

鈴岡公園整備美化活動	50,000円
区民センター環境整備費	50,000円
合計	100,000円

■収支

収入の部	160,220円	－	支出の部	100,000円	=	60,220円
------	----------	---	------	----------	---	---------

認定第2号

飯田山本おひさま広場整備事業

- 事業者 山本地域づくり委員会
- 協力事業者 おひさまグリッド5株式会社
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 飯田山本おひさま広場
- 太陽光発電容量 52.92 kW
- 発電見込み量 年間 59,287 kWh

申出時点での事業計画

- ①環境教育・避難用防災広場としての活用
 - ・地域づくり委員会は環境・防災広場事業の実施主体として、山本地区の住民のための環境教育及び災害時の避難広場として維持管理を行う。
- ②非常用電源設備の利用方法を山本地区住民に周知し、災害時に活用

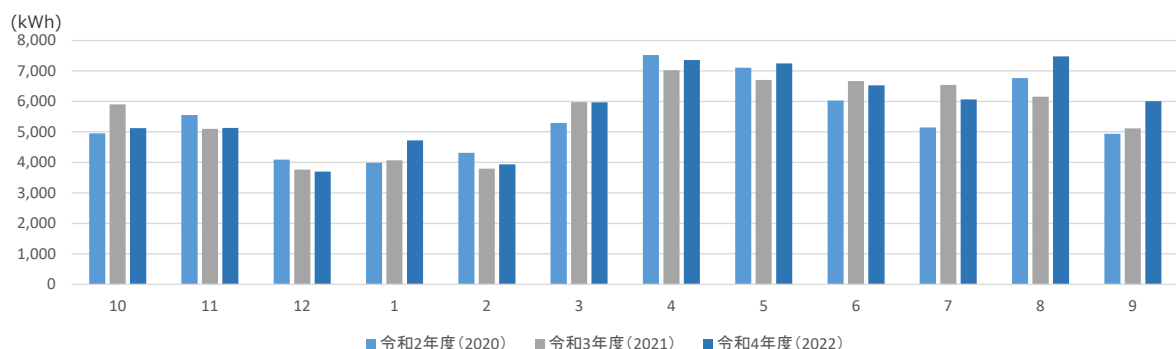
実績等

- 発電開始日 平成27年3月26日

■ 年別発電量及びCO₂削減量（各年度10月～9月）

令和2年度 65,669kWh（当初想定：59,287 kWh）…CO₂削減量 24.9t-CO₂
令和3年度 66,807kWh（当初想定：59,287 kWh）…CO₂削減量 27.1t-CO₂
令和4年度 69,253kWh（当初想定：59,287 kWh）…CO₂削減量 31.1t-CO₂

■ 月別発電量



■ 地域貢献寄付金（定率4%+税+1万円）

平成28年度：191,050円 令和2年度：125,013円 令和5年度：128,838円
平成29年度：128,204円 令和3年度：122,688円
平成30年度：125,153円 令和4年度：124,640円
令和元年度：126,132円

※発電開始初年度の寄付金は翌年分と合算。年度は支払い年度を示す。

本事業での最近の活用内容

①旭ヶ丘中学校校舎の実チャレンジ



②広場の様子



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①契約の終了・更新時における設備の所有権の譲渡や撤去費用

- ・契約書において、契約期間の末日以降における設備の取り扱いについて、選択によって地域づくり委員会が所有権を譲渡される場合があると思われる。その場合、将来的に設備を撤去するとなった場合、地元でその費用を捻出することは難しい。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	835,518円	
今年度地域貢献寄付金	128,838円	令和5年10月31日受領
その他	40,000円	令和5年8月10日受領
預金利息	3円	
合計	1,004,359円	

■支出の部

電気料	2,964円	(広場の維持管理経費)
水道料	27,290円	(広場の維持管理経費)
除草芝生管理等委託料	220,000円	(広場の維持管理経費)
合計	250,254円	

■収支

収入の部	1,004,359円	－	支出の部	250,254円	=	754,105円
------	------------	---	------	----------	---	----------

認定第3号

杵原学校多目的ホール太陽光発電設備設置事業

- 事業者 山本地区づくり委員会
- 協力事業者 おひさまグリッド5株式会社
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 飯田市山本都市農村交流促進施設（杵原学校）
- 太陽光発電容量 22.8 kW
- 発電見込み量 年間 22,634 kWh

申出時点での事業計画

- ①山本地区住民による再生可能エネルギー利用に関する啓発・環境教育の推進。
- ②非常用電源設備の利用方法を山本地区住民に周知し、災害時に円滑に活用する。

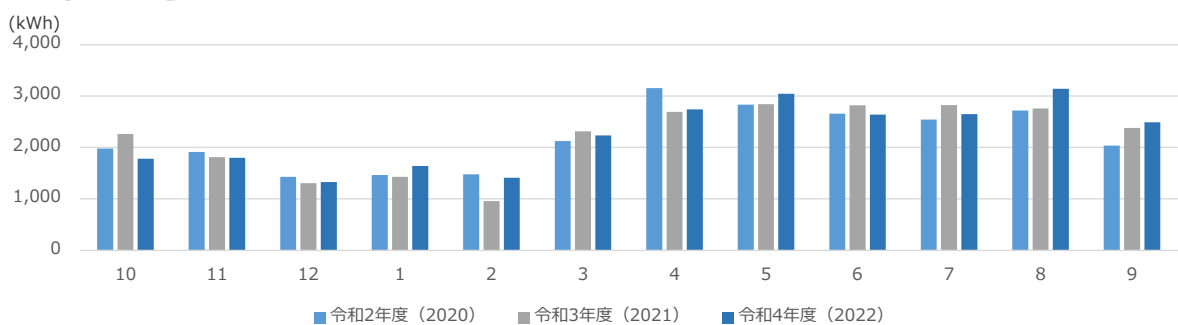
実績等

- 発電開始日 平成27年4月1日

■ 年別発電量及びCO₂削減量（各年度10月～9月）

令和2年度 26,325 kWh（当初想定：22,634 kWh）・・・CO₂削減量 10.0 t-CO₂
令和3年度 26,391 kWh（当初想定：22,634 kWh）・・・CO₂削減量 10.7 t-CO₂
令和4年度 26,897 kWh（当初想定：22,634 kWh）・・・CO₂削減量 12.1 t-CO₂

■ 月別発電量



■ 地域貢献寄付金（定率6%+税）

平成28年度：94,926円 令和2年度：59,182円 令和5年度：59,173円
平成29年度：60,318円 令和3年度：57,915円
平成30年度：59,238円 令和4年度：58,060円
令和元年度：59,795円

※発電開始初年度の寄付金は翌年分と合算。年度は支払い年度を示す。

本事業での最近の活用内容

①杵原学校桜まつりおもてなし活動



②杵原学校子ども教室・デイキャンプ



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①契約の終了・更新時における設備の所有権の譲渡や撤去費用

- ・契約書において、契約期間の末日以降における設備の取り扱いについて、選択によって地域づくり委員会が所有権を譲渡される場合があると思われる。その場合、将来的に設備を撤去となった場合、地元でその費用を捻出することは難しい。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	0円	
今年度地域貢献寄付金	59,173円	令和5年10月31日受領
預金利息	0円	
合計	59,173円	

■支出の部

電気料	402,464円	(杵原学校の維持管理経費)
合計	402,464円	

■収支

収入の部 59,173円－支出の部 402,464円＝ 343,291円不足分施設の指定管理料で補填

■補足

協定における寄付金の扱いについて「杵原学校の維持管理費と住民主体の交流事業に要する経費に充てる」となっている。

丘づくり・市民共同発電所プロジェクト2014

- 事業者 竜丘地域自治会
- 協力事業者
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 飯田市生涯学習センター（竜丘公民館）
- 太陽光発電容量 12.0 kW
- 発電見込み量 年間 15,200 kWh

申出時点での事業計画

- ①遊休農地の活用、ガーデニング講習会等による良好な景観づくり
- ②竜丘公民館への太陽光発電の設置によるエネルギー自給率の向上
- ③竜丘ふるさと教材「丘のみちしるべ」によるひとづくり
- ④児童自由画資料館建設基金の創設

実績等

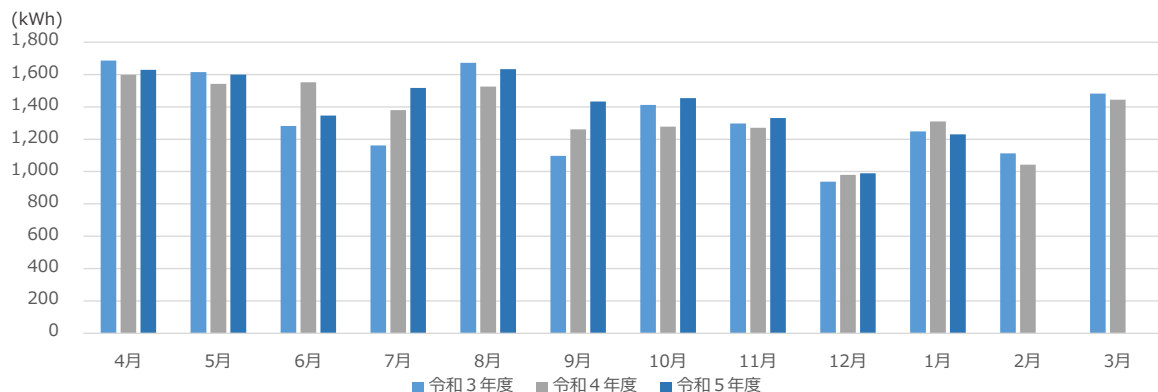
- 発電開始日 平成26年4月28日

- 年別発電量及びCO₂削減量（直近3年間 令和5年度は1月まで）

※中部電力排出係数（調整後） H3：0.388 H4：0.459 H5：0.459

令和3年度	16,002kWh（当初想定：15,200kWh）	CO ₂ 削減量	6.21t/CO ₂
令和4年度	16,185kWh（当初想定：15,200kWh）	CO ₂ 削減量	6.28t/CO ₂
令和5年度	14,164kWh（当初想定：15,200kWh）	CO ₂ 削減量	5.49t/CO ₂

- 月別発電量



- 地域貢献寄付金

自己財源のため、地域貢献寄付金なし

本事業での最近の活用内容

- ①遊休農地の活用、ガーデニング講習会等による良好な景観づくり
【丘づくりガーデニング推進事業】



【芝生化実証事業】



- 活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について
①太陽光発電設備の耐用年数経過に伴う維持管理への対応
②蓄電池等の活用によるエネルギーの有効利用を検討

会計報告（令和4年度）

※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	106,996円
売電収入	642,386円
預金利息	1円
合計	749,383円

■支出の部

光熱水費	8,019円
租税公課	133,500円
役務費・委託料（保険、コンサルティング料）	61,872円
借入金返済	360,000円
操出金（竜丘地域自治会へ）	100,000円
振込手数料	110円
合計	663,501円

■収支

収入の部 749,383円 — 支出の部 663,501円 = 85,882円

認定第5号

久米会館・さくら保育園久米分園

太陽光発電設備設置事業

- 事業者 山本地域づくり委員会
- 協力事業者 おひさまグリッド5株式会社
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 久米会館・さくら保育園久米分園
- 太陽光発電容量 32.8 kW (パネル容量)
- 発電見込み量 年間 33,367 kWh

申出時点での事業計画

- ①久米地区住民に対して再生可能エネルギーの利用に関する啓発及び環境教育の推進。
- ②設備の利用方法を久米地区住民に周知し、非常時に円滑に利用する。

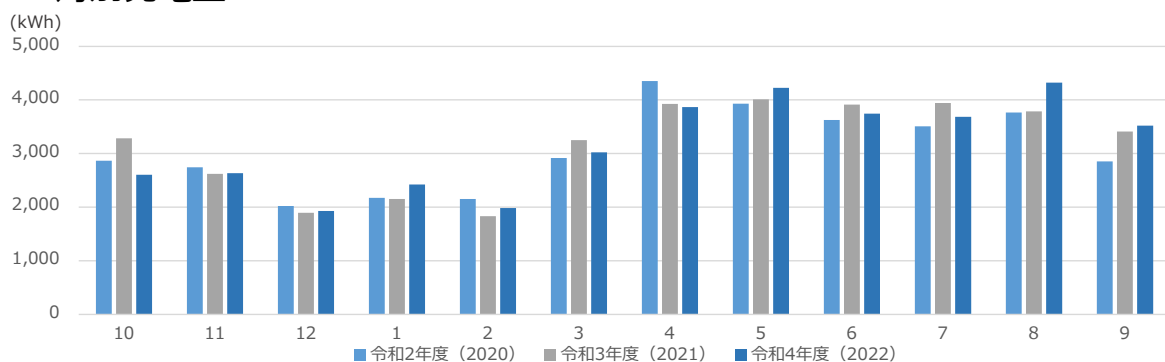
実績等

- 発電開始日 平成27年5月29日

■ 年別発電量及びCO₂削減量 (各年度10月～9月)

令和2年度 36,894kWh (当初想定: 33,367 kWh) …CO₂削減量 14.0t-CO₂
令和3年度 38,009kWh (当初想定: 33,367 kWh) …CO₂削減量 15.4t-CO₂
令和4年度 37,946kWh (当初想定: 33,367 kWh) …CO₂削減量 17.0t-CO₂

■ 月別発電量



■ 地域貢献寄付金

平成27年	87,000円	令和元年	87,000円	令和5年	87,000円
平成28年	87,000円	令和2年	87,000円		
平成29年	87,000円	令和3年	87,000円		
平成30年	87,000円	令和4年	87,000円		

本事業での最近の活用内容

①設備の利用方法の確認



②久米まつり



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①契約期間終了時(設置から20年後)における設備の扱いについて

- ・平成27年の契約時、地元「メガさんぽプロジェクトご契約」というチラシが配付され、契約終了時は「地元へ無償譲渡」「契約を終了(設備は業者が撤去)」「契約を更新」の3つの選択肢から、地元が制約なく選択できると理解している。
- ・しかし、正式な契約書では「本件設備による発電及びこれによる電力利用が継続するよう最大限配慮し」「本件設備の機能劣化が大きく、修繕、部品の更新等が困難な場合は」等の文言が加わり、契約時に受けた上記の説明と異なっている。
- ・契約書では、よほどの事情がない限り、地元が希望しても契約を終了できないようにも読み取れる。契約を終了できず、地元で設備の撤去・廃棄費用を負担せざるをえない状況とならないか不安がある。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	340,503円	
今年度地域貢献寄付金	87,000円	令和5年10月31日受領
預金利息	1円	
合計	427,504円	

■支出の部

電気料	79,582円	(久米会館の維持管理経費)
合計	79,582円	

■収支

収入の部	422,733円	－	支出の部	79,582円	=	347,922円
------	----------	---	------	---------	---	----------

認定第6号

龍江四区コミュニティ消防センター太陽光発電設備設置事業

- 事業者 龍江四区地域づくり委員会
- 協力事業者 エルコンパス イプサ 有限会社 ナカガワ竜峡店
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 龍江四区コミュニティ防災センター
- 太陽光発電容量 15.86 kW
- 発電見込み量 年間18,628 kWh

申出時点での事業計画

- ① 防災機能の向上
 - ・ 防災設備の拡充及び充実（非常用電源確保等）
- ② 地区事業の実施
 - ・ ほたる祭り等の助成
 - ・ 地域元気づくり講演会

実績等

■ 発電開始日 平成27年6月5日

■ 年別発電量及びCO₂削減量

※中部電力排出係数（調整後） H3：0.388 H4：0.459 H5：0.459

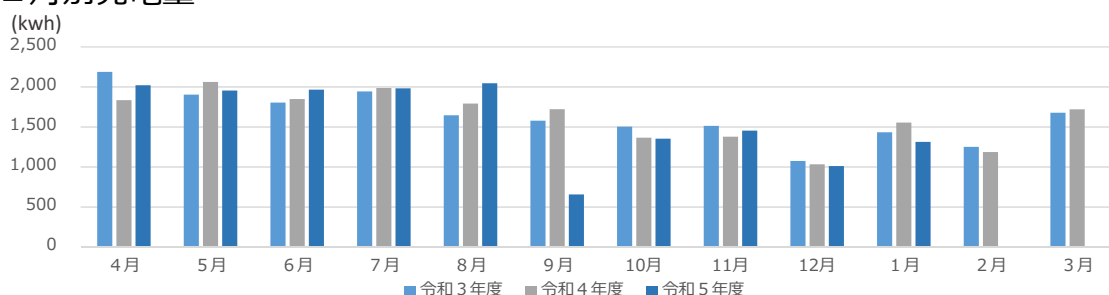
令和3年度19,366kWh（当初想定：18,628kWh）・・・CO₂削減量 7.51t/CO₂

令和4年度19,511kWh（当初想定：18,628kWh）・・・CO₂削減量 8.96t/CO₂

令和5年度17,478kWh（当初想定：18,628kWh）・・・CO₂削減量 8.02t/CO₂

※令和6年1月まで

■ 月別発電量



■ 地域貢献寄付金（定率15%）（事業開始からご記入ください）

平成28年度	108,495円	平成29年度	106,488円
平成30年度	109,200円	令和元年度	103,385円
令和2年度	103,244円	令和3年度	102,251円
令和4年度	102,674円	令和5年度	100,000円 ※見込み

本事業での最近の活用内容

①地区事業「ほたる祭り」への助成 令和5年6月17日実施



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①地区内活動への助成

- ・区内キャンプ場有効活用のための助成
- ・「ほたる祭り」への助成
- ・集会施設の暖房器具の助成（来年度予定）

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	0円	
今年度地域貢献寄付金	100,000円	3月中旬受領予定
預金利息	0円	
合計	100,000円	

■支出の部

「ほたる祭り」への助成金	30,000円
合計	30,000円

■収支

収入の部 100,000円－支出の部 30,000円＝ 70,000円
(次年度へ繰越)

認定第7号

飯田市今田人形の館太陽光発電設備設置事業

- 事業者 今田人形の館運営委員会、龍江二区地域づくり委員会
今田人形座
- 協力事業者 おひさまグリッド5株式会社
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 今田人形の館
- 太陽光発電容量 12.0 kW
- 発電見込み量 年間13,634 kWh

申出時点での事業計画

- ① 寄付金を活用した今田人形の承継
- ② 寄付金を活用した防災機能の向上
- ③ 非常用電源確保による防災機能の向上

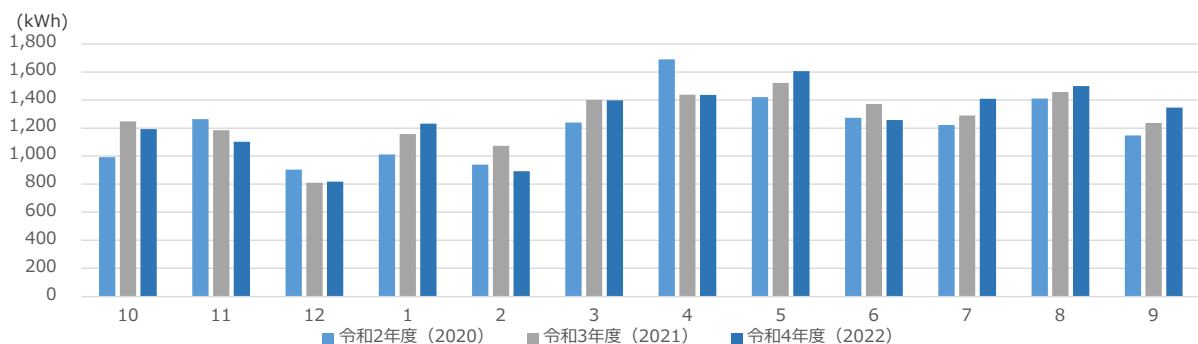
実績等

- 発電開始日 平成27年6月12日

■ 年別発電量及びCO₂削減量（各年度10月～9月）

令和2年度 14,514kWh（当初想定：13,634 kWh）…CO₂削減量 5.5t-CO₂
令和3年度 15,190kWh（当初想定：13,634 kWh）…CO₂削減量 6.2t-CO₂
令和4年度 15,189kWh（当初想定：13,634 kWh）…CO₂削減量 6.8t-CO₂

■ 月別発電量



■ 地域貢献寄付金（定率6%+税）

平成28年度：44,451円 令和2年度：32,567円 令和5年度：33,415円
平成29年度：33,949円 令和3年度：31,930円
平成30年度：33,318円 令和4年度：33,418円
令和元年度：33,353円

※発電開始初年度の寄付金は翌年分と合算。年度は支払い年度を示す。

本事業での最近の活用内容

①防災対策への取り組み



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①防災対策への取り組み

- ・本年度は、前年度繰越額も含め防災対策用ヘッドライト21個の購入の一部とした。

②今田人形の承継への取り組み

- ・本年度は、今田人形の衣装（着物）を購入した。
- ・今までの寄付金は、今田人形の照明用和ろうそくを購入していたが、コロナ禍により地区内外でのろうそく公演の機会が少なくなり、和ろうそくの消費が少なくなったため、損傷の激しい人形の衣装（着物1枚、78,000円）の購入の一部とした。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	15,965円
今年度地域貢献寄付金	33,418円
預金利息	0円
合計	49,383円

■支出の部

防災用ヘッドライト	32,674円
今田人形の着物購入	16,709円
合計	49,383円

■収支

収入の部	49,383円	－	支出の部	49,383円	=	0円
------	---------	---	------	---------	---	----

認定第8号

飯田市立旭ヶ丘中学校太陽光発電設備設置事業

- 事業者 旭ヶ丘中学校太陽光発電事業推進協議会
(伊賀良まちづくり委員会・山本地域づくり協議会・旭ヶ丘中学校PTA・生徒会・教職員)
- 協力事業者 おひさま進歩9号株式会社
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 飯田市立旭ヶ丘中学校
- 太陽光発電容量 57.24 kW (パネル容量)
- 発電見込み量 年間 60,812 kWh

申出時点での事業計画

- ①生徒が主体的に取り組む、地域と連携した環境教育及び地域活動
- ②地域に開かれた学校づくりによるスクールコミュニティ（人々の結びつきや関わりをより強め、学校と地域社会の協働関係を、より良好なものとなるための実践や考え方をいう。）の発展
- ③本件施設の防災機能の向上
- ④学校太陽光発電の取り組みの広範な発信

実績等

- 発電開始日 平成28年3月12日

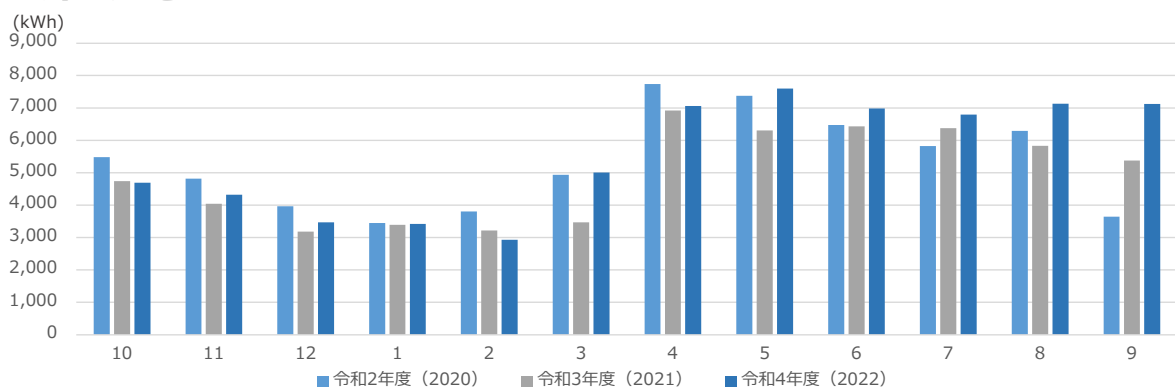
■ 年別発電量及びCO₂削減量（各年度10月～9月）

令和2年度 63,797 kWh (当初想定：60,812 kWh) …CO₂削減量 24.2 t-CO₂

令和3年度 59,277 kWh (当初想定：60,812 kWh) …CO₂削減量 24.1 t-CO₂

令和4年度 66,518 kWh (当初想定：60,812 kWh) …CO₂削減量 29.9 t-CO₂

■ 月別発電量



■ 地域貢献寄付（定額100,000円）

平成29年 100,000円 令和2年 100,000円 令和5年 100,000円

平成30年 100,000円 令和3年 100,000円

令和元年 100,000円 令和4年 100,000円

本事業での最近の活用内容

①福利委員会による太陽光発電学習発表



②福利委員会による全校発表

『おひさま』新聞

おひさまクイズの答え
十一月四日に行われた生徒会で行ったクイズの答えを発表します。

第一問 二〇二二年は、中学校の二酸化炭素排出量削減目標を達成しようか?
答え ④達成

第二問 学校に非常用電源があるのはどこですか?
答え ②体育館

第三問 日本で一番発電量が多い発電方法はどれですか?
答え ①火力発電

第四問 太陽光発電の最大のメリットは何か?
答え ③節電効果

第五問 太陽光発電の最大のデメリットは何か?
答え ②夜間発電しない

地球のために協力しよう
令和五年年度委員長 佐々木 優希 より
地球温暖化によって、海面上昇が進んでいる今、私たちに何ができるでしょうか。一人ですることは限られています。いくつか頑張って一人では出来ないこともあります。しかし、自分たちには同じ思いをもった人たちが周りにたくさんいます。例えば、友達や家族です。その人達と一緒に協力することが大切です。今こそ全員が地球温暖化を止めるために協力する必要があります。まずは節電から始めてみてください。

自分から積極的に行動しよう
令和五年年度委員長 海井 碧華 より
私たちが節電をすることで、地球温暖化防止の目標を達成することができます。節電することによって、CO2の排出量は減ります。これは、地球温暖化を止めるのにとても大切なことです。日常生活で節電を心がけて、少しずつ自分から積極的に節電することをお願いします。

活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①地域と連携した環境教育

- ・おひさま進歩エネルギー様のご協力の下、環境教育を充実して行えている。
- ・エネルギーに関する学習として、1年生の総合的な学習の時間や委員会活動での学びが中心となっており、それを全校に紹介しているが、更に多くの生徒が学べると良い。
- ・災害時に中学生がパソコンの切り替えを率先して行えると良い。

②寄付金の用途

- ・最近では、老朽化した放送機器の費用に充てることを検討している。
- ・地域からの出資によって実現した事業のため、地域に還元する用途も考えたい。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	326,572円	
今年度地域貢献寄付金	100,000円	10月31日受領
預金利息	1円	
合計	426,573円	

■支出の部

物品購入	0円
学習会講師謝礼	0円
イベント用機材購入	0円
合計	0円

※数年かけて、放送機器の購入に充てる予定

■収支

収入の部	426,573円	支出の部	0円	=	426,573円
------	----------	------	----	---	----------

花の木山本小学校太陽光発電事業

- 事業者 山本地域づくり委員会
- 協力事業者 おひさま進歩10号株式会社
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 山本小学校
- 太陽光発電容量 42.93 kW (パネル容量)
- 発電見込み量 年間 47,464 kWh

申出時点での事業計画

- ①山本小学校、PTA、地区内の諸団体等が連携して行う学校事業及び環境整備への支援。
- ②山本地区住民への広報を通じて、環境に対する意識の向上を図る。
- ③非常用電源設備の利用方法を地区住民に周知し、災害時に利用する。

実績等

- 発電開始日 平成29年5月30日

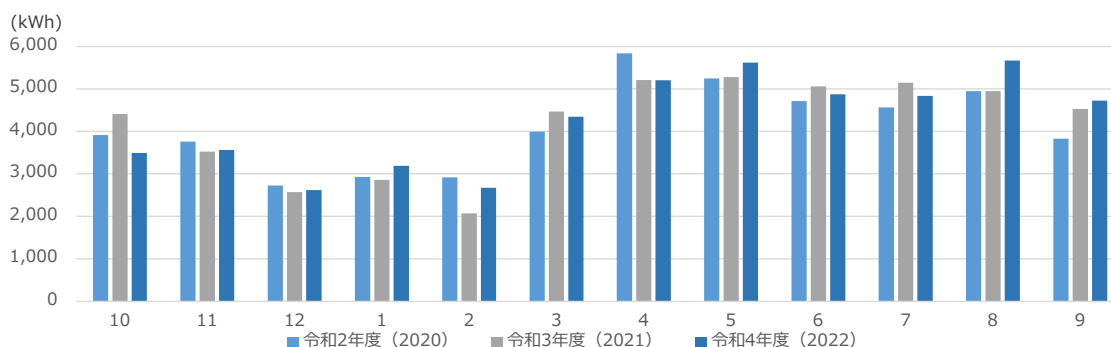
■ 年別発電量及びCO₂削減量 (各年度10月～9月)

令和2年度 49,373 kWh (当初想定: 47,464 kWh) …CO₂削減量 18.7 t-CO₂

令和3年度 50,064 kWh (当初想定: 47,464 kWh) …CO₂削減量 20.3 t-CO₂

令和4年度 50,791 kWh (当初想定: 47,464 kWh) …CO₂削減量 22.8 t-CO₂

■ 月別発電量



■ 地域貢献寄付金 (定率5%+税)

平成30年度: 86,254円

令和4年度: 60,577円

令和元年度: 62,275円

令和5年度: 61,457円

令和2年度: 60,328円

令和3年度: 59,741円

※発電開始初年度の寄付金は翌年分と合算。年度は支払い年度を示す。

本事業での最近の活用内容

①卒業生の記念植樹



- 令和3年3月 卒業生である6年が学校敷地内に花桃の苗木6本を植樹。
令和4年3月 卒業生である6年が学校敷地内にサンシュの苗木を一本植樹。
令和5年3月 卒業生である6年が学校敷地内にサンシュの苗木2本の記念植樹。
令和6年3月 卒業予定である6年が学校敷地内にサンシュの苗木2本の記念植樹。

小学校、PTA、地区内の諸団体が連携して行う学校事業及び環境整備に活用しています。

活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①特にありません。引き続き同様の活動を行っていきたい。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	円	
今年度地域貢献寄付金	61,457円	令和5年10月25日受領
預金利息	0円	
合計	61,457円	

■支出の部

環境整備費	0円	(3月末日までに8万円程度の支出を予定)
合計	0円	

■収支

収入の部	61,457円	−	支出の部	0円	=	61,457円
------	---------	---	------	----	---	---------

認定第10号

小沢川小水力発電事業

- 事業者 上村まちづくり委員会
- 協力事業者 かみむら小水力株式会社
- 発電設備 小水力発電
- 発電箇所 天竜川水系 小沢川
- 有効落差 最大 92.26m 常時 98.75m
- 使用水量 最大 0.31m³/s 常時 0.09m³/s
- 出力 最大 199.9kw 常時 59.5kw
- 導水管延長 955.01m
- 着工予定 未定 (令和6年秋頃)
- 発電開始 未定 (令和8年秋頃)

実績等

■令和5年度の取組状況

- ・詳細設計(令和4年度(株)シーテック)の確認
- ・河川法、森林法等の各種許認可協議(許可取得済み)
- ・国直轄砂防堰堤工事との調整
- ・再生可能エネルギー発電事業計画認定(FIT)申請(R6.2.26認定)
- ・経営会議等の開催

■会議・協議等記録

①経営会議(4回)

- ・詳細設計の確認
- ・FIT申請に向けて 他

②林野庁との協議(南信森林管理署・伊那谷総合治山事務所)

- ・治山堰堤の使用について
- ・国有林野の貸付契約
- ・国有林野内での作業行為

③長野県河川課との協議

- ・河川区域、河川保全区域の設定
- ・河川内構造物の新築、占用に関する協議

④国土交通省 天竜川上流河川事務所との協議

- ・作業道への導水管路埋設
- ・工事工程のすり合わせ

⑤中部電力との接続検討の再調整

本事業での最近の活用内容

①御膳プロジェクト 地域行事での郷土御膳の提供と調理体験



- ・地域での認知度が上がり、様々な行事等での御膳提供が楽しみにされています。
- ・プロジェクトメンバーが小学校での調理指導を行うなどの交流企画に参加して、食を通じた活動の拡がりに取り組んでいます。

2023.7.22 上村小学校体験、見学会

2023.11.12 しゃくなげ祭（地区総合文化祭）



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①資材費高騰の対応策について

- ・昨今の世界情勢に伴う資材高騰による建設費の著しい増額が課題。
- ・工事費の抑制やキャッシュフローの見直しなど改善策を検討中。

②インボイスについて

- ・建設計画段階で発電開始前のため収入実績がない。インボイス対応に関して、発電事業者の対応状況や課題があれば知りたい。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

運転開始前であるため、実績なし。

認定第11号

伊賀良井用水マイクロ水力発電再生可能エネルギー活用事業

- 事業者 飯田市大井井水管理組合
- 協力事業者 株式会社マルヒ
- 発電設備 マイクロ水力発電
- 発電箇所 飯田市 妙琴浄水場
- 水力発電容量 最大出力 2.20 kW
常時出力 1.56 kW
- 発電見込み量 年間 15,417 kWh



マイクロ水力発電機稼働状況（発電中）

申出時点での事業計画

- ① 農業用水路を活用したマイクロ水力発電による売電事業
- ② 伊賀良井用水路及びその周辺の維持管理（環境美化含む）の向上のための寄附金活用
- ③ 稚魚の放流事業費として寄附金を活用
- ④ 井水沿線地区への環境教育学習の提供

実績等

- 発電開始日 令和元年1月

■ 年別発電量（直近3年間）

※中部電力排出係数（調整後） H3：0.388 H4：0.459 H5：0.459

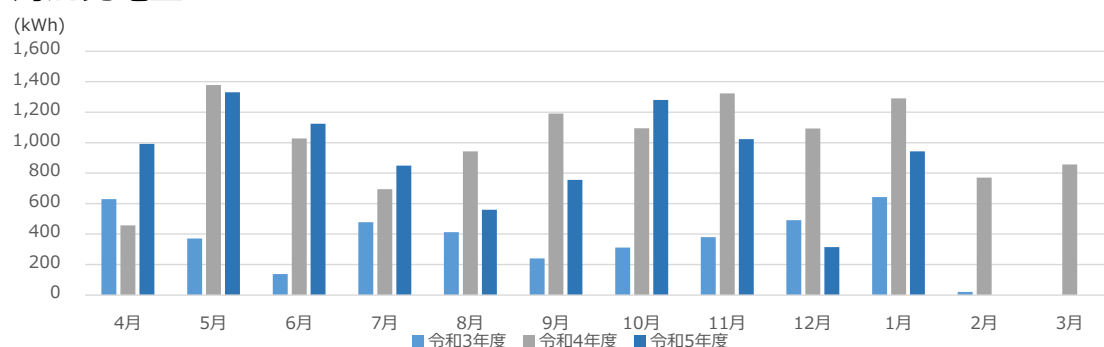
令和3年度 4,115kWh（当初想定：15,417kWh）…CO2削減量 1.60t/CO2

令和4年度 12,119kWh（当初想定：15,417kWh）…CO2削減量 5.56t/CO2

令和5年度 9,173kWh（当初想定：15,417kWh）…CO2削減量 4.21t/CO2

※令和5年4月～令和6年1月まで

■ 月別発電量



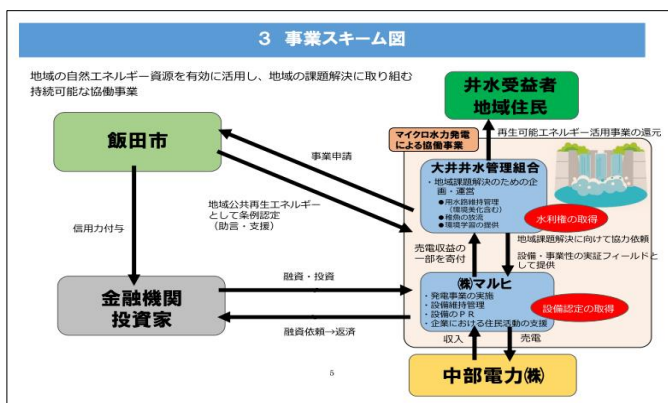
■ 地域貢献寄付金（定率30%）

平成30年度（売電寄付金¥40,377）	93,740円	令和3年度	43,806円
令和元年度	73,382円	令和4年度	133,400円
令和2年度	49,969円	令和5年度	120,000円 ※見込み

本事業での最近の活用内容

①令和2～5年度 環境整備作業

- ・井水組合、地元地区において、設備周りの環境整備作業を行いました。



②令和5年度 保育園見学会の実施

- ・令和5年度に、地元の育良保育園に通う園児と保護者へ環境啓発として、水力発電設備の紹介と魚のつかみ取り体験による交流会を行いました。



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①現況及び事業報告

- ・寄付金事業収入は環境整備などの費用の一部として使用しています。
- ・以前の課題であった騒音問題は機器の改良などによって改善し、現在は24時間稼働し、継続的な売電ができています。
- ・当初予定の環境啓発活動用看板の設置及び活動については、寄付金が目標金額に充足してから順次実施していく予定です。

②今後の展開

- ・現行場所は、安定した24時間稼働ができています。引き続き、井水組合、飯田市との連携で事業を進めていきます。
- ・今後、地域・行政（飯田市）に相談しながら、このスキームでの飯田下伊那地域における設置場所を増やすべく、現在既に候補地の選定にも着手しています。より加速感を持って、事業拡大に取り組んでいきます。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	104,840円	
今年度地域貢献寄付金	120,000円	受領見込み
預金利息	0円	
合計	224,840円	

■支出の部

発電用流水占用料	7,422円	(発電所運営事業)
発電事業用電気代	9,360円	(発電所運営事業)
環境整備労務費	50,000円	(発電所環境整備事業)
保育園交流会イベント代	150,000円	(環境教育事業)
合計	216,782円	

■収支

収入の部	224,840円	支出の部	216,782円	=	8,058円
------	----------	------	----------	---	--------

認定第12号

下久堅ふれあい交流館太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

- 事業者 下久堅地区まちづくり委員会
- 協力事業者 エルコンパス・イプサ（有）ナカガワ龍峡店
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 下久堅ふれあい交流館
- 太陽光発電容量 27.5kW（250W×110枚）
- 発電見込み量 年間34,272kWh



下久堅ふれあい交流館

申出時点での事業計画

- ①エルコンパス・イプサがふれあい交流館の屋根を利用し、発電設備の設置及び発電事業を実施。
- ②売電収入の一部を地域貢献寄附金として下久堅地区まちづくり委員会に寄附する。
- ③まちづくり委員会は、下久堅の伝統であるひさかた和紙の保存・継承や体験プログラムの活動費等に活用する。

実績等

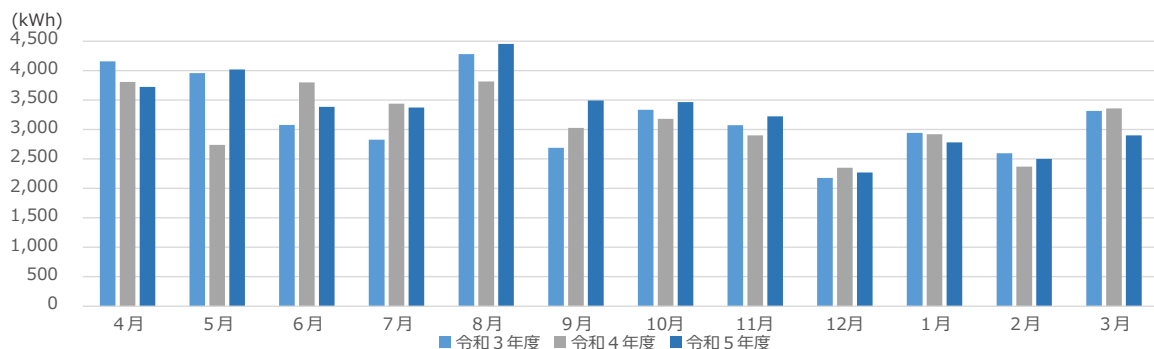
- 発電開始日 平成31年3月～

- 年別発電量及びCO₂削減量（直近3年間 令和5年度は見込み）

※中部電力排出係数（調整後） H3：0.388 H4：0.459 H5：0.459

令和3年度	38,418kWh	（当初想定：34,272kWh）	…CO ₂ 削減量	14.91t/CO ₂
令和4年度	38,368kWh	（当初想定：34,272kWh）	…CO ₂ 削減量	17.61t/CO ₂
令和5年度	39,575kWh	（当初想定：34,272kWh）	…CO ₂ 削減量	18.16t/CO ₂

- 月別発電量



- 地域貢献寄附金（定率9%）

令和元年度	73,670円	令和4年度	68,875円
令和2年度	68,303円	令和5年度	70,927円（R6.1.31現在の見込み額）
令和3年度	67,865円		

本事業での最近の活用内容

①下久堅小学校児童による地域学習



こうその皮むき作業 (11月)



紙漉き体験 (12月)



下久堅小学校150周年記念事業で6年生が作成したひさかた和紙モザイクアート

②和紙の活動



こうそ畑の収穫作業 (11月)



二十歳を迎える地元住民の地域学習として実施した紙漉き体験 (11月)



ひさかた和紙を使用したランプシェードの試作



「ひもバス！」東中生徒の受け入れ (7月)



ひさかた和紙の会と市長との「ふれあいトーク」 (2月)



「純米酒よこね」のラベルにひさかた和紙を使用

活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①活動の課題

- ・体験プログラムや和紙製品の販売により、自主財源の安定的な確保。
- ・年間を通じた楮畑の管理（草刈り、芽欠き等）や紙漉き材料を準備する過程におけるスタッフの確保
- ・紙漉きに関する知識や技術を継承する後継者の育成。

②今後の展開

- ・和紙製品を商品化し、ひさかた和紙の認知度の拡大を図る。
- ・体験プログラムを通じて和紙への関心を高め、ファンづくりや人材確保につなげる。
- ・安定した収入を確保し、持続可能な活動体制を構築する。
- ・体験型観光の受け入れや、和紙の原料、製品の販売等による収入を、自治組織の自主財源として地域に還元できる仕組みを研究する。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	278,715円	
今年度地域貢献寄付金	78,000円	(見込み)
預金利息	0円	
合計	356,715円	

■支出の部

0円
(紙漉き道具等の購入資金として積立中)

■収支

収入の部 356,715円 - 支出の部 0円 = 356,715円 (令和5年度見込み額)

認定第13号

ハートヒル川路太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

- 事業者 川路地区まちづくり委員会
- 協力事業者 おひさま進歩エネルギー株式会社
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 ハートヒル川路
- 太陽光発電容量 89.28 kW (パネル容量)
- 発電見込み量 年間 95,832 kWh

申出時点での事業計画

- ①太陽光発電を通じた環境教育の実施
- ②ハートヒル川路利用者との交流事業、施設整備事業への寄付金活用
- ③ハートヒル川路利用者ともちづくり委員会との合同防災訓練の実施
- ④まちづくり委員会による川路へ帰ろう事業

実績等

- 発電開始日 令和2年2月1日

■年別発電量及びCO₂削減量 (各年度4月～3月)

※中部電力排出係数 (調整後) H3 : 0.388 H4 : 0.459 H5 : 0.459

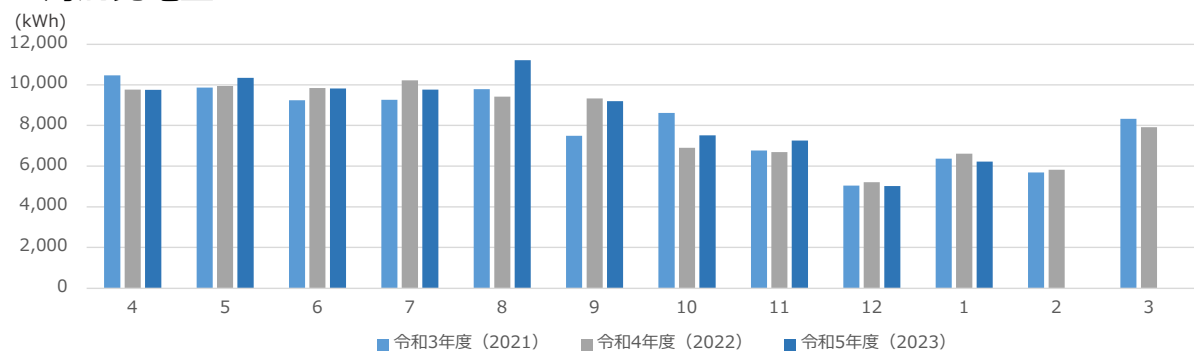
令和3年度96,920kWh (当初想定 : 95,832kWh) …CO₂削減量37.60t-CO₂

令和4年度97,692kWh (当初想定 : 95,832kWh) …CO₂削減量44.84t-CO₂

令和5年度86,111kWh (当初想定 : 95,832kWh) …CO₂削減量39.52t-CO₂

※令和6年1月まで

■月別発電量



■地域貢献寄付金 (定率5%+税)

令和3年度 122,200円 令和4年度 111,942円

令和5年度 112,834円

※発電開始初年度の寄付金は翌年分と合算。年度は支払い年度を示す。

本事業での最近の活用内容

①川路へ帰ろう事業



川路出身者に送ったカレンダー

⑥ハートヒル交流事業



※認定第18号川路公民館及び川路小学校太陽光発電再生可能エネルギー活用事業と合算して事業を展開しています。

②里山保全事業



④未満児保育運営支援事業



③環境教育事業



⑤川路農園運営補助事業



活動を行ううえでの困りごとや今後の展開について

- ①令和4年度に川路で生まれた子供が3人という驚くべき数字を受け、若い世帯の移住促進をメインに、「川路に帰ろうキャンペーン事業」を重点課題として取組み開始。
- ②里山整備は、先ず学友林の復活を挙げ、本年度より小学校PTA、保育園保護者会他と協力して整備を開始。
- ③ホームページは活発な投稿が寄せられるようになる。今後後世に残したい川路の貴重な資料を整理して、自由に閲覧可能な環境を整備したい。

会計報告 ※以下の会計については、まちづくり委員会会計に直結した形で独立して管理しています

■収入の部

前年度繰越金	0円		
今年度地域貢献寄付金	170,000円	5月15日	リックスより入金
	112,834円	6月7日	おひさま進歩より入金
合計	282,834円		

■支出の部

①川路へ帰ろうキャンペーン事業	41,825円	(荷物発送補助・郵送料等)
②里山管理事業	98,372円	
③川路農園運営補助事業	5,000円	(畑の賃貸料等)
④未満児保育運営支援事業	10,000円	
⑤ホームページ充実事業	100,000円	(オペレーター委嘱料)
⑥ハートヒル川路交流事業	3,000円	(納涼祭補助等)
合計	258,197円	

■収支

収入の部 282,834円 - 支出の部 258,197円 = 24,637円 (まちづくり委員会への戻し)

認定第14号

竜峡共同調理場太陽光発電

再生可能エネルギー活用事業

- 事業主体 龍江地域づくり委員会 会長 齋木和秀
- 協力事業者 エルコンパス・イプサ有限会社 ナカガワ龍峡店
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 竜峡共同調理場 飯田市龍江3600-1
- 太陽光発電容量 24.00 kW (250W x 96枚)
- 発電見込み量 年間29,554 kWh

申出時点での事業計画

- ①食とエネルギーの地域循環の創出と環境教育の推進
- ②竜峡小梅、地元産大豆等の地元食材を活用した郷土食の提供による域産域消の推進
- ③市内の小中学校への給食を安全安心に配達するための隣接する放置竹林の環境整備作業
- ④調理場周辺の放置竹林整備による害虫発生の抑制と衛生環境の向上

実績等

- 発電開始日 令和2年3月30日

- 年別発電量及びCO₂削減量 (令和2年4月～令和5年1月)

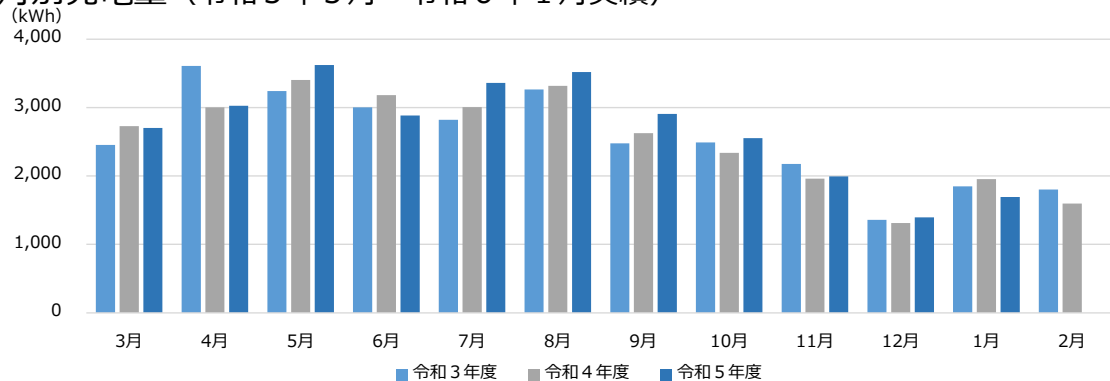
※中部電力排出係数(調整後) H3: 0.388 H4: 0.459 H5: 0.459

令和3年度30,538kWh (当初想定: 29,554kWh) …CO₂削減量 11.85t/CO₂

令和4年度30,423kWh (当初想定: 29,554kWh) …CO₂削減量 13.96t/CO₂

令和5年度29,651kWh (当初想定: 29,554kWh) …CO₂削減量 13.61t/CO₂

- 月別発電量 (令和3年3月～令和6年1月実績)



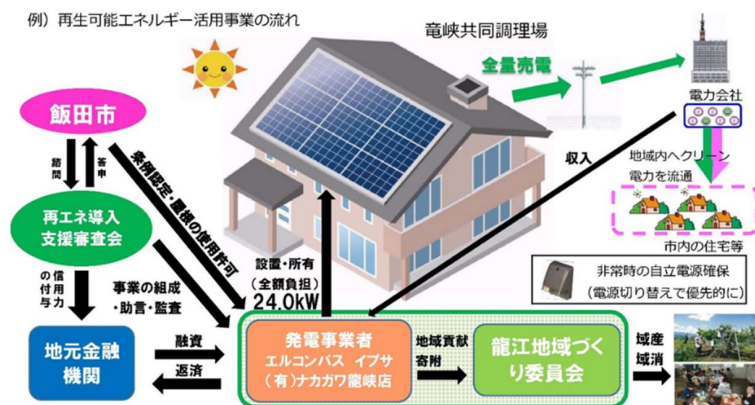
- 地域貢献寄付金 (定率10%)

令和2年度 72,393円 令和4年度 80,316円

令和3年度 80,619円 令和5年度 81,800円 ※見込み

本事業での最近の活用内容

①昨年度から継続的に調理場周辺の放置竹林の整備を専門家と実施した。



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①調理場周辺の放置竹林整備に限らず、龍江地区内の広範囲に竹林整備を拡大する。又、伐採した竹などの有効活用を検討する。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	115,826円	
今年度地域貢献寄付金	80,316円	(4月 受取)
預金利息	1円	
合計	196,143円	

■支出の部

作業依頼のお礼ほか	28,084円
合計	28,084円

■収支

収入の部	196,143円	−	支出の部	28,084円	=	168,059円
------	----------	---	------	---------	---	----------

認定第15号

千代地区 (千代小学校・千栄小学校) 太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

■事業主体 千代地区まちづくり委員会 会長 小澤 克平

■協力事業者 株式会社リックス 代表取締役 熊谷 弘

■発電設備 太陽光発電

■発電場所 飯田市立千代小学校 飯田市千代3166番地 2

飯田市立千栄小学校 飯田市千栄1530番地 1

■発電容量 最大出力 55.48kw

(千代小学校27.74kw、千栄小学校27.74kw)

■発電見込み量 年間 53,302kWh

申出時点での事業計画

①地域環境資源の情報発信の強化

②地区の特産物や農産物の販路拡大による長野県版エシカル消費の推進

③地域の子どもたちの教育環境の充実

実績等

■発電開始日 千代小学校 令和2年7月22日
千栄小学校 令和2年6月16日

■年別発電量及びCO₂削減量

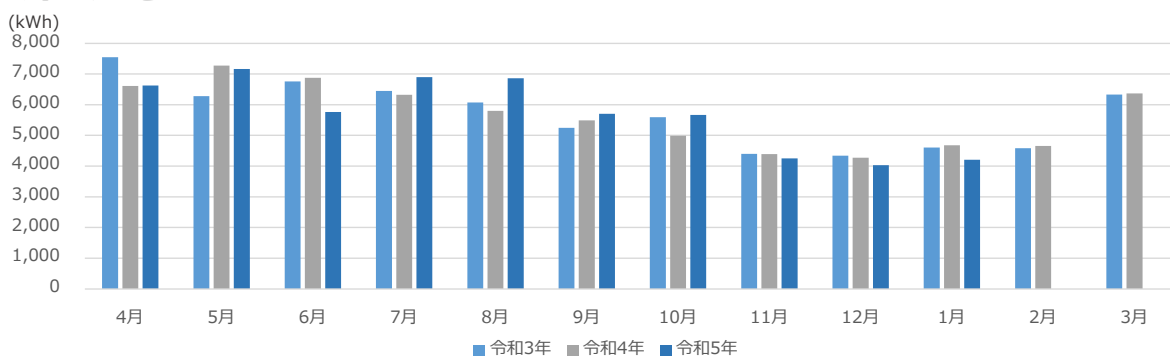
※中部電力排出係数(調整後) H3:0.388 H4:0.459 H5:0.459

令和3年度68,209.4kWh(当初想定:60,722.9kWh)・・・CO₂削減量26.47t-CO₂

令和4年度67,737.4kWh(当初想定:60,417.7kWh)・・・CO₂削減量31.10t-CO₂

令和5年度57,159.7kWh(当初想定:60,112.6kWh)・・・CO₂削減量26.24t-CO₂

■月別発電量



■地域貢献寄付金(定額180,000円)

令和2年度 180,000円 令和3年度 180,000円

令和4年度 180,000円 令和5年度 180,000円

本事業での最近の活用内容

①環境教育の充実



②魅力発信等



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①活動を行う上での課題（基本構想により取り組む地域課題）

- ・情報発信の強化
- ・子どもたちの教育環境の充実

②今後の展開について

- ・SNSを活用した地区の豊かな環境資源の情報発信
- ・地区の将来を担う子どもたちの教育環境の充実

会計報告（令和5年度）

■収入の部 今年度地域貢献寄付金 180,000円（4月28日受領）
合計 180,000円

■支出の部 教育環境の整備 120,000円（千代小、千栄小の備品等購入）
魅力発信事業 60,000円（ホームページ運営等）
合計 180,000円

■収支

収入の部 180,000円－支出の部 180,000円＝ 0円

認定第16号

上久堅農村環境改善センター（上久堅公民館） 太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

■事業者 上久堅地区まちづくり委員会

■協力事業者 株式会社 リックス

■発電設備 太陽光発電

■発電箇所 上久堅農村環境改善センター

■太陽光発電容量 20.805 kwh

■発電見込み量 年間 18,879kwh

申出時点での事業計画

- ① 景観形成のための、屋外広告物の改修、修繕及び除却費への活用
- ② 空き家対策作業時等における経費への活用
- ③ 環境及び農地保全のための野生鳥獣防護柵の維持管理に必要な資材購入への活用
- ④ 上久堅公民館の屋根を活用した太陽光発電による売電事業

実績等

■発電開始日 令和2年7月2日

■年別発電量及びCO₂削減量

※中部電力排出係数（調整後） H3：0.388 H4：0.459 H5：0.459

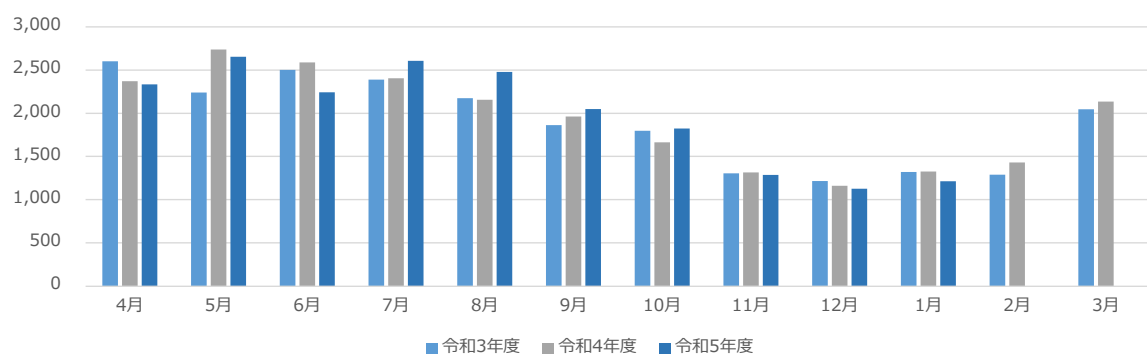
令和3年度22,744.4kWh（当初想定：22,771.1kWh）…CO₂削減量 8.82t/CO₂

令和4年度23,252.5kWh（当初想定：22,656.6kWh）…CO₂削減量 10.67t/CO₂

令和5年度19,814.1kWh（当初想定：22,542.2kWh）…CO₂削減量 9.09t/CO₂

※令和6年1月31日数値

■月別発電量



■地域貢献寄付金（定額 80,000円）

令和2年度 80,000円 令和3年度 80,000円

令和4年度 80,000円 令和5年度 80,000円 ※見込み

本事業での最近の活用内容

①上久堅地区基本構想・基本計画及び上久堅地区土地利用計画 策定



平成31年(2019)4月～施行
・人口減少に伴う地域内の空き家対策の実施
・美しい景観の保全のため、屋外広告物について必要に応じた規制の検討
・野生鳥獣対策に有効な防護柵維持管理への協力



令和2年(2020)10月～施行
・上久堅地区空き家対策特別委員会を設置し始動
・屋外広告物について飯田市条例を利用した基準強化及び老朽化し表示が見えない屋外広告物の看板改修、撤去等の方針

②上記計画に基づく主な活動



屋外広告物に関する調査・撤去



空き家対策取り組みへのTV取材



野生鳥獣対策防護柵補修作業

- ・屋外広告物検討委員会立上げ上久堅の美しい景観を保護するため、上久堅地区における屋外広告物に関する基準強化を要望し令和3年3月から施工となった。また令和2年度に現地調査を行い、退色した屋外広告物を徐々に撤去又は更新を開始した。
- ・令和元年度にまちづくり委員会の特別委員会として「空き家対策特別委員会」を設置し4年目となるが、移住者呼び込むためには住む場所の確保が大事であり、地域おこし協力隊と委員の活動により現在までに18件の空き家解消につながっている。
- ・野生鳥獣対策協議会を中心に維持活動に取り組んでいる。年に2回から3回の防護柵点検作業を行っている。

活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①屋外広告物の改修、修繕

- ・現地調査を行った結果、ひどく退色した屋外広告物が多かったため、徐々に撤去又は更新していく。
- ・民間業者または非営利団体等が設置した広告物については設置者との調整が必要であるため時間と労力がかかる。

②空き家対策

- ・地域おこし協力隊の任期が終了となるが、飯田市空き家対策係と連携し今までの空き家対策活動が継続できるよう仕組みを構築する。
- ・1件の解消に4～5年かかるケースが多い。家を処分することには相当な決意が必要な為、丁寧に時間をかけて家主に話していく必要がある。
- ・相続登記がされていない空き家が多く、解消の意向があってもできないことがある。令和6年度に相続登記が義務化されるため、空き家対策委員会でも規則に沿った活動を行う。
- ・市水道に加入していない空き家が多くあるため、その加入金に対する補助が課題である。
- ・令和6年度の活動としては空き家対策の推進のため空き家解消件数の目標を2件以上とし飯田市空き家バンクへの登録件数の増、地区HPを活用した情報発信を引続き行う。

③野生鳥獣防護柵の維持管理

- ・現在のところ委員の補修対応で維持を行っているが、令和5年6月2日の豪雨の影響によって補修規模が大きい箇所がある。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	74,157円	
まちづくり繰入金	126,000円	
今年度地域貢献寄付金	80,000円	令和5年5月2日 受領
預金利息	843円	
合計	281,000円	

■支出の部

事業費	77,500円	(景観向上事業) 令和6年2月9日現在
合計	77,500円	

■収支

収入の部 281,000円 — 支出の部 77,500円 = 203,500円

■事業者 松尾地区地区まちづくり委員会

■協力事業者 株式会社リックス

■発電設備 太陽光発電

■発電箇所 松尾小学校・松尾公民館

■太陽光発電容量 飯田市松尾公民館 20.81 kW
飯田市立松尾小学校 27.74 kW

■発電見込み量 飯田市松尾公民館 年間22,891 kWh
飯田市立松尾小学校 年間30,514 kWh

申出時点での事業計画

- ① 地域の子どもたちを地域で育てるコミュニティスクールの推進
- ② エネルギーの地域循環の創出と環境学習の推進
- ③ 災害時など送電網による電力供給が停止した際の臨時的な電力の確保
- ④ 松尾公民館及び松尾小学校の屋根を活用した太陽光発電による売電事業

実績等

■発電開始日 令和2年6月9日

■年別発電量及びCO₂削減量

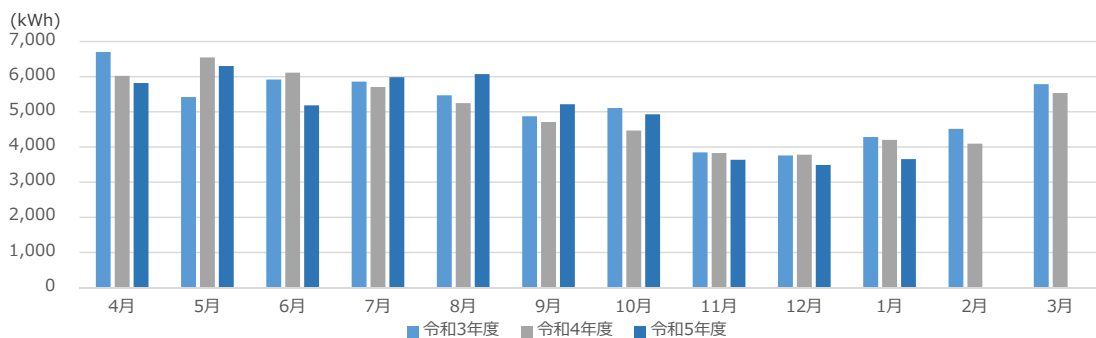
※中部電力排出係数（調整後） H3：0.388 H4：0.459 H5：0.459

令和3年度 61,524.5kWh（当初想定：53,132.5kWh）・・・CO₂削減量 23.87t/CO₂

令和4年度 60,241.6kWh（当初想定：52,865.5kWh）・・・CO₂削減量 27.65t/CO₂

令和5年度 50,274.4kWh（当初想定：52,598.5kWh）・・・CO₂削減量 23.08t/CO₂

■月別発電量



■地域貢献寄付金（定額200,000円）

令和3年度 200,000円 令和4年度 200,000円

令和5年度 200,000円

本事業での最近の活用内容

①出張科学実験教室（超低温の不思議な世界&リニア&超伝導体）



②出張科学実験教室（モデルロケットを打ち上げよう）



③学校図書購入補助



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①地域貢献負担金について

- ・前述のとおり、子どもたちを中心にした事業に活用しています。まちづくり委員会として使途目的が明確となっており、大変ありがたく感じております。

②困りごとや今後の展開について

- ・現状では、特に会計上や事業実施について困っていることはございません。今後、本事業を進めていく上で何か対応等で苦慮することが発生した場合には、あらためてご相談いたします。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	0円	
今年度地域貢献寄付金	200,000円	4月28日受領
預金利息	0円	
合計	200,000円	

■支出の部

出張科学実験教室	100,000円	(育成会事業)
学校図書購入補助	100,000円	
合計	200,000円	

■収支

収入の部 200,000円－支出の部 200,000円＝ 0円

認定第18号

川路公民館及び川路小学校

太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

- 事業者 川路まちづくり委員会
- 協力事業者 株式会社 リックス
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 川路公民館、川路小学校
- 太陽光発電容量 48.50 kW
- 発電見込み量 53,350 kWh

▼ 申し出時点での事業計画

- ① 川路へ帰ろう事業（川路出身の県外在住者に故郷の情報を提供する）
- ② 里山管理事業（里山保全のための管理組合設立準備と協議）
- ③ 川路農園運営補助事業（川路農園の運営支援）
- ④ 未満児保育運営支援（おむすび保育園への支援）
- ⑤ ホームページ充実（見やすくわかりやすいホームページ制作と内容更新）

実績等

- 発電開始日 川路小学校 令和3年5月26日
川路公民館 令和3年5月15日

■ 年別発電量及びCO₂削減量（各年度4月～3月）

※中部電力排出係数（調整後） H3：0.388 H4：0.459 H5：0.459

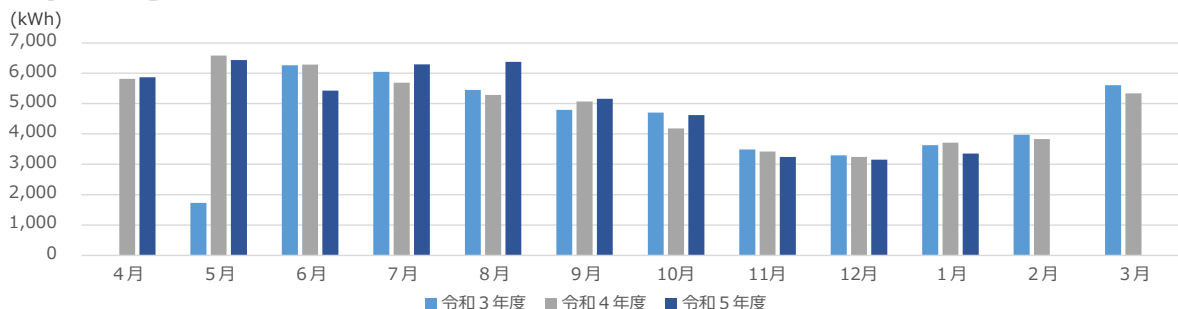
令和3年度48,981kWh（当初想定：53,396kWh）…CO₂削減量19.00t-CO₂

令和4年度58,454kWh（当初想定：53,133kWh）…CO₂削減量26.83t-CO₂

令和5年度49,916kWh（当初想定：52,866kWh）…CO₂削減量22.91t-CO₂

※令和6年1月まで

■ 月別発電量



■ 地域貢献寄付金（定率5%+税）

令和3年度 122,200円 令和4年度 111,942円

令和5年度 112,834円

※発電開始初年度の寄付金は翌年分と合算。年度は支払い年度を示す。

本事業での最近の活用内容

①川路へ帰ろう事業



川路出身者に送ったカレンダー

⑥ハートヒル交流事業



※認定第13号ハートヒル川路太陽光発電再生可能エネルギー活用事業と合算して事業を展開しています。

②里山保全事業



④未満児保育運営支援事業



③環境教育事業



⑤川路農園運営補助事業



活動を行ううえでの困りごとや今後の展開について

- ①令和4年度に川路で生まれた子供が3人という驚くべき数字を受け、若い世帯の移住促進をメインに、「川路に帰ろうキャンペーン事業」を重点課題として取組み開始。
- ②里山整備は、先ず学友林の復活を挙げ、本年度より小学校PTA、保育園保護者会他と協力して整備を開始。
- ③ホームページは活発な投稿が寄せられるようになる。今後後世に残したい川路の貴重な資料を整理して、自由に閲覧可能な環境を整備したい。

会計報告 ※以下の会計については、まちづくり委員会会計に直結した形で独立して管理しています

■収入の部

前年度繰越金	0円		
今年度地域貢献寄付金	170,000円	5月15日	リックスより入金
	112,834円	6月7日	おひさま進歩より入金
合計	282,834円		

■支出の部

①川路へ帰ろうキャンペーン事業	41,825円	(荷物発送補助・郵送料等)
②里山管理事業	98,372円	
③川路農園運営補助事業	5,000円	(畑の賃貸料等)
④未満児保育運営支援事業	10,000円	
⑤ホームページ充実事業	100,000円	(オペレーター委嘱料)
⑥ハートヒル川路交流事業	3,000円	(納涼祭補助等)
合計	258,197円	

■収支

収入の部 282,834円 - 支出の部 258,247円 = 24,587円 (まちづくり委員会への戻し)

認定第19号

県地区公共施設太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

- 事業者 県地区まちづくり委員会
- 協力事業者 株式会社リックス
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 県小学校第2体育館／県中学校武道館／県体育館
- 太陽光発電容量 73.5 kW
(県小学校第2体育館28.5 kW／県中学校武道館28.5 kW／県体育館16.5 kW)
- 発電見込み量 年間71,878 kWh

申出時点での事業計画

- ①【重視事項】小中学校、公民館、地域及び家庭が一体となって県の子どもを育てる「かなエココミュニティスクール」の推進及び地育力向上の取組に活用
- ②県地区の活性化や自治を支えることを目的とした団体の助成やその事業の実施の支援に活用
- ③特色ある地域づくり・地域の活力アップに繋がる県の環境整備やブランド力向上に資することに活用
- ④指定避難施設である県小学校・中学校、応急避難施設である県体育館の防災力の更なる向上に活用

実績等

- 発電開始日 県小学校第2体育館 令和3年4月20日 県中学校武道館 令和3年4月21日
県体育館 令和5年2月28日

■ 年間発電量実績及びCO2削減想定量

令和3年度 発電量実績 70,517.4kWh

(県小 36,452.4kWh、県中 34,065.0kWh) →CO2削減想定量 29.5t/CO2

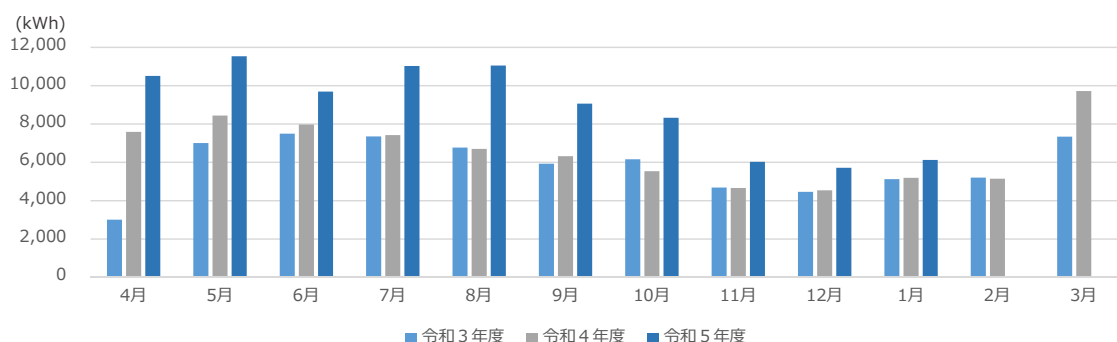
令和4年度 発電量実績 79,232.5kWh

(県小39,628.6kWh、県中37,096.8kWh、県体育館 2,507.1kWh) →CO2削減想定量 33.1t/CO2

令和5年度 発電量実績 89,059.7kWh (令和6年1月末時点)

(県小33,773.3kWh、県中31,756.4kWh、県体育館23,530.0kWh) →CO2削減想定量 33.1t/CO2

■ 月別発電量



■ 地域貢献寄付金 (定額220,000円)

令和3年度 220,000円 令和4年度 220,000円 令和5年度 220,000円

本事業での最近の活用内容

県地区は小中連携一貫教育を推進している。地域貢献寄付金は、かなえコミュニティスクール学校運営協議会で用途を決定し、教育活動を目的として小中学校及び公民館の企画事業に活用をしている。

- ① 県小学校、県中学校、県公民館の合同講演会の開催
 - ・ 育児漫画家・イラストレーターの高野優さんを講師に招いての子育てに関する講演会を11月に開催
- ② 県小学校創立150周年記念式典への参画
 - ・ 県小学校創立150周年の記念式典を、学校運営協議会主催で11月に実施。
 - ・ 全校児童によるバルーンリリースも行われた。



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について第4次県地区基本構想・基本計画の推進に資する取り組みを推進する。特に、当面の間以下の2点を中心に事業展開を行う予定である。

- ① 「未来のかなえを担う小～中学生の育成とその環境づくり」を重視し、「かなえコミュニティスクール」運営協議会との連携に投資する
- ② 特色のある地域づくり事業や環境整備等の一部に投資する

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	340,000円	*基金として定期預金化
今年度地域貢献寄付金	220,000円	*4月28日受領
預金利息	8円	
合計	560,008円	

■支出の部

県小中PTA・公民館合同講演会	0円	*PTA予算で対応できたため寄付金は充当せず
合計	0円	

■収支

収入の部	560,008円	－	支出の部	0円	=	560,008円
→ 基金化して、来期以降の事業で活用する						

認定第20号

龍江小学校太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

- 事業者 龍江地域づくり委員会
- 協力事業者 エルコンパス イプサ
有限会社 ナカガワ竜峡店
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 飯田市立龍江小学校 北校舎
- 太陽光発電容量 27.5 kW
- 発電見込み量 年間 42,460 kWh



申出時点での事業計画

- ①第14号事業と共同して行う、地元食材を活用した郷土食の提供による域消域産の推進及び自然エネルギー及び環境教育に関する教材購入等に要する経費
- ②学校の緑化（花壇整備等）
- ③地域クラブ等の材料費補助や講師謝礼補助
- ④シャルルヴィル・メジエール市のノートルダム小学校との交流経費他

実績等

- 発電開始日 令和3年8月19日

■年間発電想定量及びCO₂削減想定量

※中部電力排出係数（調整後） H3：0.388 H4：0.459 H5：0.459

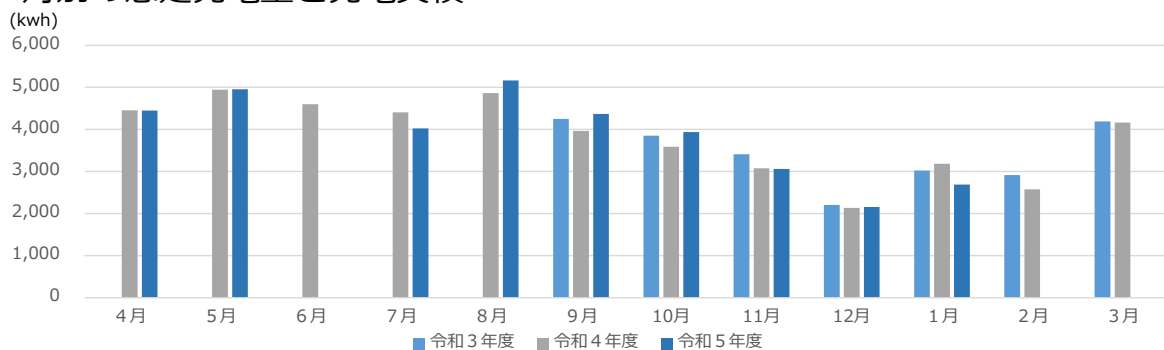
令和3年度19,642kWh（当初想定：42,460kWh）…CO₂削減量 7.62t/CO₂

令和4年度45,957kWh（当初想定：42,460kWh）…CO₂削減量 21.09t/CO₂

令和5年度38,924kWh（当初想定：42,460kWh）…CO₂削減量 17.87t/CO₂

※令和6年1月31日数値

■月別の想定発電量と発電実績



■地域貢献寄付金（定率10%）

令和3年度 45,372円

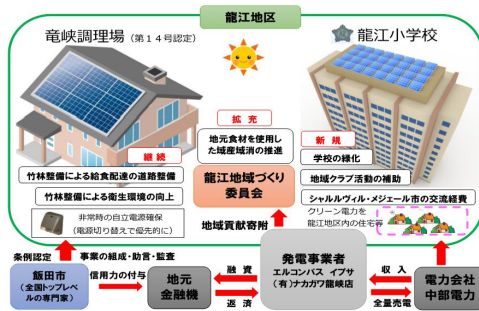
令和4年度 106,160円

令和5年度 95,000円 ※見込み

※6月に設備故障により発電無し

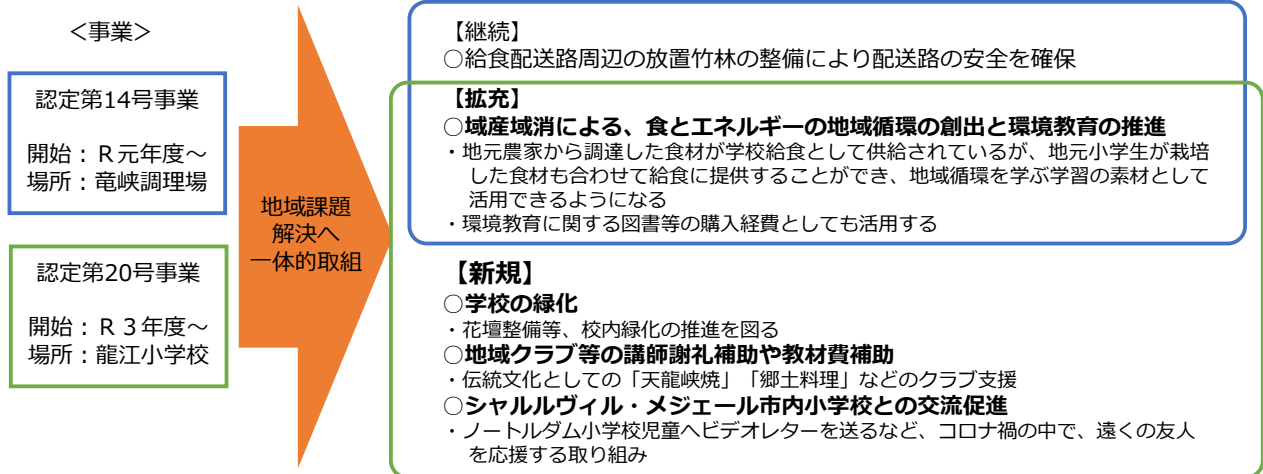
本事業での最近の活用内容

①認定第14号竜峡共同調理場太陽光発電再生可能エネルギー活用事業と合わせて、竜峡調理場周辺道路沿いの広範囲に渡る放置竹林整備や支障木伐採整備の作業費用へ補填する事とする為、今年度は使用しない様にし、次年度へ繰越する事とした。



○本事業は、竜江地域づくり員会で実施中の既存事業（第14号認定竜峡調理場太陽光発電再生可能エネルギー活用事業）と一体的に、地域課題の解決に取り組んでいく。

<寄付金の使途>



<事業>

認定第14号事業

開始：R元年度～
場所：竜峡調理場

認定第20号事業

開始：R3年度～
場所：竜江小学校

地域課題
解決へ
一体的取組

【継続】

○給食配送路周辺の放置竹林の整備により配送路の安全を確保

【拡充】

○域産域消による、食とエネルギーの地域循環の創出と環境教育の推進
 ・地元農家から調達した食材が学校給食として供給されているが、地元小学生が栽培した食材も合わせて給食に提供することができ、地域循環を学ぶ学習の素材として活用できるようになる
 ・環境教育に関する図書等の購入経費としても活用する

【新規】

○学校緑化
 ・花壇整備等、校内緑化の推進を図る
 ○地域クラブ等の講師謝礼補助や教材費補助
 ・伝統文化としての「天龍峡焼」「郷土料理」などのクラブ支援
 ○シャルルヴィル・メジェール市内小学校との交流促進
 ・ノートルダム小学校児童へビデオレターを送るなど、コロナ禍の中で、遠くの友人を応援する取り組み

活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

- ①放置竹林整備箇所は、急峻な場所で足場も悪く地区民だけの作業には危険を伴うため、森林組合や行政のチカラを借りる必要がある。
- ②業者へ作業依頼しても多額の費用が必要となり、一括支払いができない。
- ③飯田市が竹林整備を実施、この寄付金で逐次返済などの検討を要望。

会計報告

■収入の部

前年度繰越金	12,357円	
今年度地域貢献寄付金	106,160円	(4月 受取)
合計	118,517円	

■支出の部

合計 0円

■収支

収入の部 118,517円 - 支出の部 0円 = 118,517円

竜丘小学校太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

- 事業者 竜丘地域自治会
- 協力事業者 株式会社リックス
- 発電設備 太陽光発電
- 発電箇所 飯田市立竜丘小学校
- 太陽光発電容量 27.74 kW
- 発電見込み量 年間 30,514 kWh

申出時点での事業計画

- ①飯田市環境美化重点区域として指定を受けた天竜川鷲流峡及び時又中村線（源氏ヶ滝）エリアの不法投棄対策
- ②天竜川鷲流峡復活プロジェクトと竜丘小学校児童とが行う竹灯籠づくりやメンマづくりなど地域資源たる竹の活用をベースにした環境教育

実績等

- 発電開始日 令和4年2月12日

■ 年別発電量及びCO₂削減量

※中部電力排出係数（調整後） H3：0.388 H4：0.459 H5：0.459

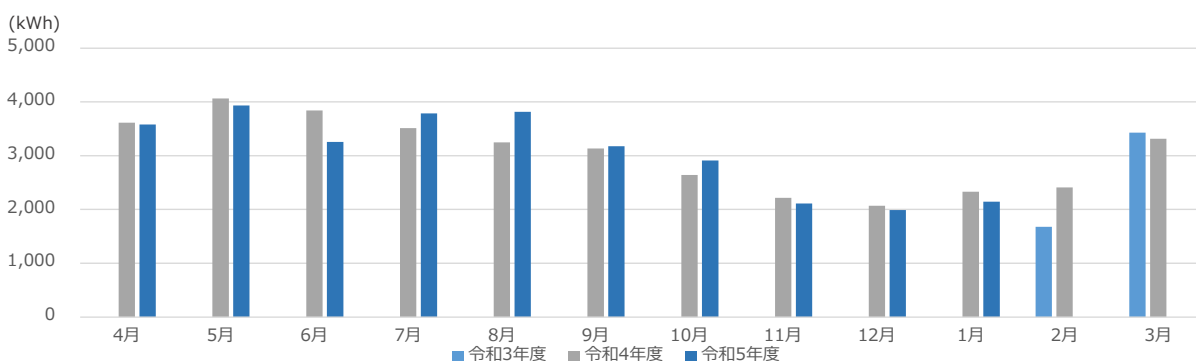
令和3年度 5,104Wh（当初想定：30,514kWh）…CO₂削減量 1.98t/CO₂

令和4年度 36,381Wh（当初想定：30,362kWh）…CO₂削減量 16.70t/CO₂

令和5年度 30,684Wh（当初想定：30,209kWh）…CO₂削減量 14.08t/CO₂

※令和5年度は令和6年1月までの数値

■ 月別発電量（令和4年2月～令和6年1月）



■ 地域貢献寄付金（定額105,000円）

令和3年度 105,000円 令和5年度 105,000円

令和4年度 105,000円

本事業での最近の活用内容

①【不法投棄対策】放置竹林の伐採



②【環境教育】いなちく(メンマ)のラベルづくり



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

- ①環境美化重点区域の放置竹林等の整備を拡大し、ゴミを捨てにくい環境づくりを目指します。
- ②身近にある竹の利活用について、竜丘小学校の児童が学習する機会を寄付金により一層充実します。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	0円
今年度地域貢献寄付金	105,000円
預金利息	0円
合計	105,000円

■支出の部

天竜川鷲流峡復活プロジェクト活動費	35,000円
源氏ヶ滝環境美化プロジェクト活動費	35,000円
竜丘小学校環境教育費用（天竜川鷲流峡復活PJ）	35,000円
合計	105,000円

■収支

収入の部	105,000円	−	支出の部	105,000円	=	0円
------	----------	---	------	----------	---	----

認定第22号

野底川小水力発電再生可能エネルギー活用事業

- 事業者 上郷地域まちづくり委員会
- 協力事業者 野底川市民発電株式会社（おひさま進歩エネルギー）
- 発電設備 小水力発電（もりデン こりき君）
- 発電箇所 野底川
- 発電容量 341.5kW（最大受電電力 340kW）
- 発電見込み量 年間2,120,000kWh

申出時点での事業計画

- ①野底山の森林活用事業：森林・木工体験、ガイドによる森林散策など、森林空間を活かした事業の実施。
- ②野底山森林公園の整備事業：園内施設、遊歩道(森林公園内、風越山登山ルート)、キャンプ場の拡張、ピクニック広場等の整備。
- ③野底山森林公園の活用事業：紅葉の郷としてPRする他、発電所を活用した環境学習(自然エネルギー・水生生物観察・釣り体験)を実施し地域の魅力の向上につなげる。

実績等

- FIT発電開始日 令和5年9月8日（6/30～9/7は試験運転、FIT売電は9/8開始）

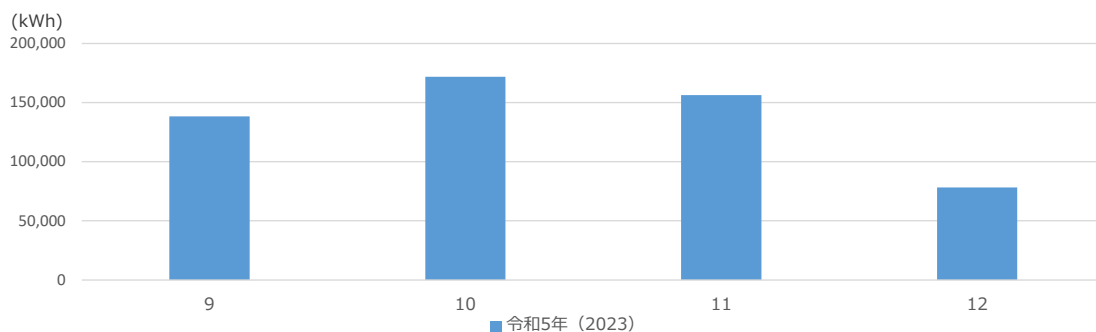
- 年別発電量及びCO₂削減量（令和5年9月8日～12月31日までの発電量）

令和4年度 0kWh（発電開始前のため）

令和5年度 544,485kWh・・・CO₂削減量235.8t-CO₂

（当初想定9/8～12/31・・・713,427kWh）夏場の降水量減、機器調整による一時停止(12月)あり

- 月別発電量



- 地域貢献寄付金（定率1%+税）

令和4年度： 0円（工事中）

令和5年度： 0円（FIT売電開始が令和5年9月8日のため。※令和6年5月末に初回寄付の予定）

本事業での最近の活用内容

①上郷小学校環境学習



おひさま社員が、5年生に出前授業



授業後、遠足に合わせて5年生が発電所見学

＊ ＊参考＊ ＊

外部からの視察対応 大学や県市町村の議員など



筑波大学



立命館大学
小水力研究会

活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①公園の維持管理部門の高齢化及び新たな担い手の確保

- ・野底山森林公園の維持管理業務を行っているモーリーの森応援隊隊員の高齢化に伴い、作業への参加人員が減少しているため、一部業務委託などの検討を進める。
- ・隊員確保のため入隊特典や入隊しやすい雰囲気作り、上郷居住者に限らない隊員の募集などを検討し実施に向けて取り組む。
- ・新たな担い手として地域住民をはじめ、小・中・高校生・大学生が活動できる場づくりと、活動を通じ将来的に繋がることのできる人口の創出による担い手確保の研究を進める。

②環境学習の継続

- ・地元小学生(5年生)を対象に地域資源に対する出前授業、小水力発電所見学を実施。
- ・地域住民を対象とした環境学習講座、小水力発電所見学の実施。

会計報告 ※以下の会計については、事業専用の会計として管理しています。

■収入の部

前年度繰越金	0 円	
今年度地域貢献寄付金	0 円	月 日受領
預金利息	0 円	
合計	0 円	

■支出の部

物品購入	0 円
学習会講師謝礼	0 円
イベント用機材購入	0 円
合計	0 円

■収支

収入の部 0円 - 支出の部 0円 = 0円

認定第23号

南信濃地区公共施設太陽光発電再生可能エネルギー活用事業

■事業者 南信濃地区まちづくり委員会

■協力事業者 株式会社リックス

■発電設備 太陽光発電

■発電箇所 和田小学校・遠山中学校・南信濃公民館

■太陽光発電容量 60.5 kW

(和田小学校 22.0 kW/遠山中学校 22.0 kW/南信濃公民館 16.5 kW)

■発電見込み量 年間85,061.8 kWh

申出時点での事業計画

- ①令和5年度「やまざと親子留学」のスタート、留学家族への支援
- ②移住定住策の推進
- ③留学希望者への情報発信



実績等

■発電開始日 和田小学校：R4.4.18 遠山中学校：R4.4.30 南信濃公民館：R4.6.13

■年別発電量及びCO₂削減量

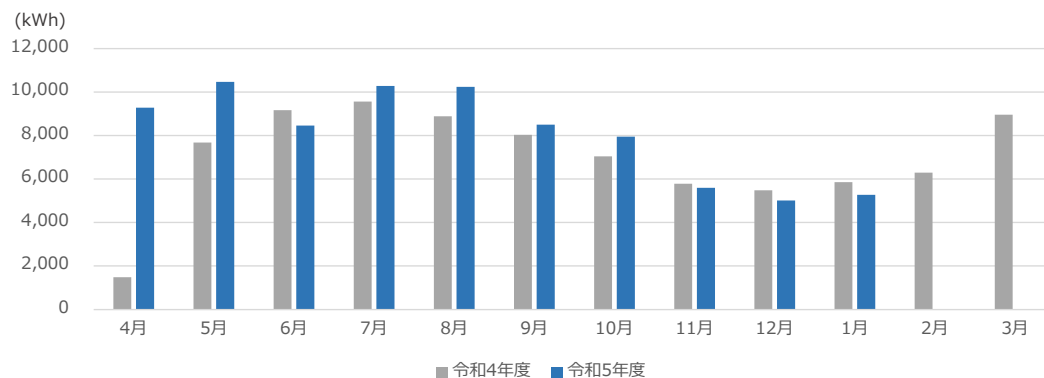
※中部電力排出係数（調整後） H3：0.388 H4：0.459 H5：0.459

令和4年度 84,207.0 kWh（当初想定：85,921.0 kWh）…CO₂削減量 35.199t/CO₂

令和5年度 81,020.6 kWh（当初想定：85,061.8 kWh）…CO₂削減量 33.867t/CO₂

※R5年度の発電量及びCO₂削減量はR6.1月までの累積

■月別発電量



■地域貢献寄付金（定額210,000円）

令和4年度 210,000円 令和5年度 210,000円

本事業での最近の活用内容

①移住者向け住宅の確保（地域住民による空き家調査・片付け）



空き家調査



活用可能な空き家の片付け



②1500委員会組織の拡充



定例会を毎月開催するとともに、サポーターを募集し、組織拡充を行った。

③やまざと親子留学



移住相談会（東京）



移住希望者の現地見学会（意見交換）



活動を行っているうえでの困りごとや今後の展開について

①やまざと親子留学

- ・現地見学会やオンライン説明会などを開催し、潜在的なニーズはあることはわかってきているものの効果的な発信が課題。
- ・結いターン移住定住推進課と連携し、SMOUTを活用した発信を今後も行っていく。

②移住者向け住宅の確保

- ・空き家調査を行っているが、空き家ストックが進まない。この地域での暮らしを知ることや地域住民との関係性の構築が必要。このためお試し住宅や体験プログラムによる取組を継続する。
- ・空き家を活用できる状態にするためには、費用負担がネックになってくる。短期的なニーズへの対応する住宅と本気で移住を考えている方に対する住宅の対応は異なってくる。このため、短期的なニーズに対してはお試し住宅、長期的なニーズに対しては片づけられる範囲で地域が協力しつつ、市の補助金等の活用を案内するなど、空き家の掘り起こしと合わせ移住者に寄り添った対応を行っていく。

会計報告（R4年度） ※移住定住を推進する「南信濃1500委員会」の活動費として、同委員会の専用会計で管理。

■収入の部

前年度繰越金	335,680円	
地域貢献寄付金	210,000円	R4.4.28受領
その他補助金	1,086,247円	（元気づくり支援金他）
繰入金	1,126,005円	まちづくり委員会より
その他収入	15,004円	貯金利息4円、参加者負担金15,000円
合計	2,772,936円	

■支出の部

消耗品費	179,717円
事業費	1,057,136円
事務費	58,730円
役務費	1,540円
返還金	1,014,505円
合計	2,311,628円

■収支

収入の部 2,772,936円 - 支出の部 2,311,628円 = 461,308円